



北アフリカ地域ニュース

エジプト・イスラエル：QIZ 協定の見直しに関する合意 (10月10日付エジプト各紙)

(注：QIZ 協定とは、2004年12月にエジプト、イスラエル及び米国との間で結ばれた貿易協定のこと、製品の付加価値の35%がエジプトの指定工業団地で生産され、うち11.7%がイスラエル産品であれば、米国への関税及び米国の輸入割り当ての免除を受けることが出来るというもの。)

- 10月9日、ムバラク大統領は、イスラエルのイシャイ産業貿易労働相と会談した。同会談には、ラシード通産相とコーヘン駐エジプト・イスラエル大使が同席した。
- ラシード通産相の発言（会談後の記者会見で）
 - エジプトとイスラエルは、2005年2月に発効したQIZ協定の枠組において、米国への輸出を目的に設立されたQIZで生産される製品に含まれるイスラエル産品の割合を11.7%から10.5%へ引き下げることに関意した。この引き下げにより、エジプト側に年間1,000~1,500万米ドルの利益をもたらすであろう。
 - 同協定の発効以降、同協定を利用するエジプト企業数は203社にのぼる。エジプト企業数の増加に伴い、イスラエルからの輸入量も増えるであろう。同協定を利用したエジプトの対米輸出額は、12.75億米ドルに達し、一方、イスラエルからエジプトへの輸入額は1.5億米ドルである。
 - 上エジプトにある工業団地をQIZに加える話し合いがなされたが、この件については今後米国との交渉が必要となるであろう。
 - 今回のイスラエル産品の割合引き下げは、第一段階としては満足のいくものであり、これが最終的な引き下げとはならないであろう。同協定では、QIZで操業するトルコ、中国及びインドからの投資を惹きつけるであろう。
- イシャイ産業貿易相の発言
自分は、中東地域の和平達成に向けたムバラク大統領の取り組みを高く評価している。イスラエルは、エジプトとの協力を通じ、QIZ協定を通じた輸出の増加を図っている。